



やまざきただひろ 山崎忠弘 議員
(令和新年会)

問 住民の声で廃校舎の利活用を

答 先行事例を参考に検討を進める

問 紫波町では、学校跡地活用基本方針を策定し、敷地や空き教室について地域や民間による息の長い活用を基本に地域の要望を吸い上げながら、準備や検討を進めているとのことであるが、現在進めている旧船越小学校の利活用の検討は、今後どのように住民の意見を聴いていくのか。また、旧荒川・旧大浦・旧轟木・旧山田・旧山田北の5小学校の利活用は、どのように住民の意見を聴いて進めているのか。

佐藤町長 旧船越小学校は、町の新たな教育支援施設として利活用することで検討を進めている。現段階では、住民から広く意見を聴



新たな教育支援施設運用の検討が進められる旧船越小学校

く計画はないが、必要に応じて関係機関や有識者等からも意見を聴く。旧荒川小学校等の5校の利活用計画は、

現時点で未定であるが、他市町村の事例を参考に検討を進めていく。

問 重要事業のための財源確保は

答 補助金、起債、基金等を活用

問 新たな企業の誘致、役場庁舎の整備や子育て世代を応援する施策等の重要事業を進めるための財源はどのように確保していくのか。

町長 国及び県補助金や将来的な財政負担を考慮した上で基金などを活用しながら財政運営をしていく。

問 ネーミングライツ事業の導入を

答 先行事例を参考に研究していく

問 新たな自主財源の確保の方策としてネーミングライツ事業を導入する考えはないか。

町長 導入によるメリット・デメリットや、本町において期待できる効果を検証するなど、県内市町村の先行事例を参考に研究していく。

用語解説

ネーミングライツ

公共施設等への愛称を付与する権利を民間事業者に与えることから得られる対価を施設等の運営に活用するもの。盛岡市では、株式会社岩手銀行にネーミングライツを与え、盛岡南公園球技場の愛称を「いわぎんスタジアム」にしている。